

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成 26 年度第 4 回情報セキュリティ研究講習会運営委員会議事記録

- I. 日 時：平成 26 年 7 月 24 日(木) 13:00 から 15:00  
II. 場 所：東海大学高輪キャンパス 1 号館 2 回 1 2 会議室  
III. 参加者：浜委員長、入澤委員、島崎委員、服部委員、横田委員、岡部委員、西松委員、  
岡委員  
(事務局) 井端事務局長、野本 (記)

IV. 検討事項

1. 会場確認

- ・ 東海大学高輪キャンパス 4 号館の各会場を現場確認した。

2. 各コース内容について

- (1) テクニカルコースについては、インシデントや標的型攻撃などコースであつかう概要の説明から始め、遠隔操作ツール RAT の説明、インシデント分析として外部講師による説明、感染痕跡調査、ネットワーク設計と賛助会員による攻撃に強いネットワークソリューションの説明などを予定している。
- (2) マネジメントコースについては、情報基盤運用の業務継続に関する情報提供 2 件を受けて全学的な災害対策をグループ討議する。サイバー攻撃の事例紹介とインシデント情報の情報提供を受けてインシデント情報の共有をグループ討議する。グループ討議については、他大学との交流が求められていることから、テーブル移動してメンバーを変えるワールド・カフェ手法で行うことにした。
- (3) 総合演習は 2 日目午後にテクニカルとマネジメントの参加者が合同で参加することになっている。内容に関して以下のような委員の意見があった。
- ・ ウィルス感染と情報漏えいの 2 パターンが委員から提示された。
  - ・ 攻撃を受けた職員部門のパソコンが感染した流れとし、センターで気付いたが感染が広がっている想定。手順書に沿って確認作業を進めることにして、技術者、管理者それぞれの立場で検討を進めることにしている。
  - ・ 演習で使うワークシートを準備してはどうか。ただし、時間的な制約もありまとめの報告までは難しいと考える。
  - ・ 例えば、発生報告書として初期対応の暫定措置を考えさせてはどうか。答えが誘導できるものは設定できないか。問題点の確認としてどのような情報が必要なのか、何を確認する必要があるのか。
  - ・ 提示された担当とフェーズを整理したフローチャートは演習時間では困難なため、間引いたフローチャートを利用する形ではどうか。調査・対応報告書の例示を出してはどうか。
  - ・ 演習用の資料として、ワークシート、報告書の例示、チェックリスト、ログなどを準備してはどうかの意見があった。

V. 次回のスケジュール

- ・ 大学情報セキュリティ研究講習会を 8 月 19、20 日に東海大学高輪キャンパスで開催する。また、その前日を準備日として予定している。
- ・ 各コース及び講師との打ち合わせや機材の準備は別途それぞれ進めることにしている。